



# 高西小だより

H24. 11. 29(木) 校長:古屋 N016

## 学校教育目標

夢を切り拓く  
心豊かで  
たくましい子ども

毛糸の帽子に手袋、ジャンパーにネックウォーマーと玄関前であいさつを交わす子どもたちの姿に急激な季節の移り変わりを感じます。先日のむらやま祭を色鮮やかに盛り上げた菊も寒さとともに、日ごと色あせてきました。でも、鉢の根本を見るといくつかの冬至芽が力強く顔を出しています。12月は年の終わりですが、次の年への営みの始まりでもあります。子どもたちの心の中でも、「まとめ」を頑張ろうと思う気持ちと次への期待が芽生えていることと思います。後、3週間程になりました。子どもたちが元気に登校できますようご支援とご協力をよろしくお願い致します。

## 北杜市初の小学校での「認知症サポーター養成講座」！（4年生）

みんなで認知症の人とその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつかっていく「認知症を知り地域をつくる10ヶ年」のキャンペーンが始まり、その一環で「認知症サポーター100万人キャラバン」として今回の講座を行いました。その理由は、現在認知症の症状がある人は約210万人といわれ、子どもたちが成人する20～30年後は、約2倍の400万人になると予想されているからです。特に、北杜市は県内の中でも高齢化率が高く、喫緊の課題となっています。今回、小学校では初めての取り組みということで、北杜市地域包括支援センターの保健師さんには夏休み中から細かな準備をして頂きました。藤原保健師さんのお話の中で、「認知症は誰もがなり得る病気であること」、「特別な事をするのではなく、自尊心を傷つせず、ゆっくりと見守ってほしい」という言葉や認知症の人への対応の良い例や悪い例を紹介したDVDに、子どもたちは真剣な眼差しで見聞きしていました。最後に4年生全員がオレンジリングをもらい、新たに34人のサポーターが誕生しました。（11月13日）



わかりやすい資料で説明してくれました。「海馬」をインソギンチャクに例えて疑似体験！ オレンジリングはサポーターの証だよ。

## 「みんなちがってみんないい！」(福祉講話)

22日(木)、社会福祉法人さかき会の総合施設長、また心身障がい者通所授産施設「みらいコンパニー」園長の栗原早苗先生をお迎えして、「みんなちがってみんないい」をテーマに、障がいを持った人もそうでない人も一緒に仲良く暮らせる社会について学びました。お話しの中で、栗原先生は、「障がいがあるからかわいそうな人たちではない。発達がゆるやかな人たち。その人らしく生きるために、一人ひとり違っていい。みんな出来ることと出来ないこと、得意なことと苦手なことがある。人間には、必ず何か出来ることあるはず。それを見つけて大事にしよう。」と優しい口調でわかりやすく話してくれました。今年も心に残る福祉講話となりました。



## 収穫量約46Kg！大豆作りもいよいよ終盤！

22日、4年生がプールで乾燥させておいた大豆を昔の農具を使って脱粒しました。しかし、刈り取ってプールに運び込んだ後の数日は大変でした。大豆の枝にたかっていたヨトウガの幼虫が一斉にプール一面に動き出し、その幼虫をガムテープで貼り付けるといった作業に毎日悪戦苦闘でした。でも、これも大豆作りの苦勞を知った一場面です。今回も営農たかねの中村さんをはじめ、食と農の杜づくり課の方々にご指導を頂きながら無事作業を終えました。これから収穫した大豆を使って豆腐作りをしたり、最後には味噌作りをしたりします。多くの人との関わりの中で貴重な本物体験ができる4年生は幸せですね。



# 学校生活や学習に充実感！ 【児童アンケート結果より】

NO	評価内容
1	学校は楽しいですか。
2	クラスになかよく遊ぶ友だちがいますか。
3	クラスみんなは仲がいいですか。
4	授業は楽しいですか。
5	授業で勉強したことがわかりますか。
6	先生はわかりやすく勉強を教えてくださいますか。
7	授業でわからないことがあったら先生に質問できますか。
8	先生には何でも相談できますか。
9	授業中、自分の考えを発表していますか。
10	宿題以外にも家で勉強していますか。
11	家の人と学校の様子をよく話しますか。
12	毎日朝ごはんを食べていますか。
13	先生や友だち、地域の人によくあいさつをしていますか。
14	学校のきまりややくそくをきちんと守っていますか。
15	そうじをしっかりとしていますか。
16	読書がすぎですか。
17	なわとび、一輪車、竹馬、ボール遊びなど進んでやりますか。
18	運動会やむらやま祭などの学校行事や児童会行事は楽しいですか。

今年も子どもたちの立場からみた各教育活動の実態を把握して、より良い進展と改善を図るために児童アンケートを実施しました。（評価1－思う、評価2－少しそう思う、評価3－あまり思わない、評価4－思わない）

その結果、全ての項目において肯定率80%以上を越え、多数の子どもたちが良好な学校生活を送っているといえます。特に、「学校が楽しい」「なかよく遊ぶ友だちがいる」、また、「授業で勉強したことがわかる」「先生はわかりやすく勉強を教えてくださいめる」「宿題以外にも家で勉強している」の評価1が伸びていることは、学校生活の基盤ともいえる項目だけにとてもうれしく思います。

課題については、「先生に質問」「何でも相談」「自分の考えを発表する」の評価1が50%を切っているので、「話す」「聞く」を重視した授業改善を図ると共に子どもとの更なる信頼関係の構築にも努めていきたいと思います。各ご家庭でも是非子どもたちの思いや願いを聞く機会を増やして頂き、共に連携して見守っていきましょう。

【昨年度 2月】

【本年度 10月】

